

NPOフェスタでは
今年もスタンプシールラリーを
実施します。お楽しみに。



あすぴあの書架から

『生き心地の良い町 この自殺
率の低さには理由がある』
岡 檀 著 講談社



年間3万人の人が自ら命を絶つこの国に、こんな町があったのか！と紹介される、その町は、全国でも極めて自殺率の低い「自殺“最”希少地域」。何の変哲もない田舎町に、どんな秘密が隠されているのか。その謎に挑んだルポルタージュだ。

自殺多発地域でなく、敢えて低い地域に焦点を当てたのが、本書の真骨頂。

そもそも、自殺の引き金となる病苦や生活苦は、どの地域にも等しく存在する。それなのに、自殺率に差が生じるのはなぜか。

本書で明らかになる自殺予防因子の正体は、拍子抜けするほど単純で理解しやすいものばかり。けれど、「生きやすさ、生き心地の良さってこういうことなんだよね」と妙に納得してしまう。そして、土地の魅力やコミュニティ、ユニークな人生観と処世術に触れてみたくなる。

戦後、いや開国以来、よりよい生活を望み、No.1を目指して艱難辛苦を乗り越えてきたけれど、この国では生きづらさは増すばかり。人を蹴落としてでも上を目指す上昇志向は、この町とは真逆の姿だ。立ち止まり、一息ついて、身の丈を考えてみなさい、とされている気がした。

交流スペースでは 登録団体の展示を行っています

『ブアナ・ティアレ』10月下旬まで
『学び舎江戸東京ユネスコクラブ』
11月下旬まで
『小平TBG協会』12月下旬まで
と続きます。



展示希望の団体はあすぴあまでお知らせください。

好評だった 「市民活動資金の作り方と活かし方」

7月9日、17日

市民活動団体が常に課題としている活動資金の作り方とその有効な活かし方について、東京ボランティア・市民活動センターでいくつもの相談に応じている、熊谷紀良さんと八木亜紀子さんにお話を伺う充実した2日間でした。資金の作り方のひとつの手段として寄付のお話もあり、「すぐにでも始めることを考えたい」という参加者からの感想もありました。



インターンシップの大学生2人が 市役所とあすぴあで就業体験

8月20日から9月4日の間の10日間

2人は創価大学の2年生。市役所とあすぴあで職場体験実習をしました。感想をあすぴあ通信に寄せてもらいました。

★市民にとって必要な場所の一つ 堀 清美

あすぴあには個性豊かな団体がいくつもあり、様々な人と繋がりを持てる温かい場所だと感じました。インターンシップの最中も心が安らぐ音楽がいつも流れており、職員の方々も非常に優しく、あすぴあが小平市の市民の皆様が求める必要な場所の一つだと感じました。10日間という短い期間でしたが、あすぴあでの実習は学ぶことが非常に多く、今後の学生生活において大変貴重な経験となりました。また、大好きなあすぴあに遊びに行きたいと思います。本当にありがとうございました。



(左) 2人の力作 インタビューボード
(中) イベント部会に出席 (右) あすぴあ通信取材に同行

★あすぴあから学んだ市民活動 逸見孝行

今回のあすぴあでの実習を通して、これまで私の人生と接点のなかった『市民活動』という分野に関して、とても貴重な体験をすることが出来ました。特に、毎年10月末に開催されるNPOフェスタの準備では、私たちが作成したものが当日に利用されるので、自身の納得できるものが作成できて本当に充実した作業が出来たと思います。また、実際に市民活動の会議やイベントにも参加させていただいた時は、市民の方が強い熱意を持って社会に利益を還元する活動をされていることが強く印象に残りました。最後に、あすぴあのスタッフの皆さんと参加・見学させていただいた各団体の方々、本当にありがとうございました。

あすぴあ通信 《ボランティア・市民活動情報紙》

【発行】平成26年9月（年4回発行）

小平市民活動支援センターあすぴあ 〒187-0031 東京都小平市小川東町4-2-1 電話：042-348-2104 Fax：042-348-2115

E・メール：info@kodaira-shiminkatsudo-ctr.jp

URL: <http://kodaira-shiminkatsudo-ctr.jp>

【制作】指定管理者 特定非営利活動法人 小平市民活動ネットワーク